

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862

「地域との繋がり」



私たちサンアップホームグループは、施設の中だけにとどまるサービスだけでなく、地域全体を支える営みという考えのもと、様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

その一つが、弘前市浜の町にある致遠小学校の廃品回収への協力です。施設内で出た段ボールや新聞紙等の資源活用や環境保全への意識を高めるとともに、学校や地

特別養護老人ホームサンアップホーム
主任介護職員 田村 千賀子

世代を超えて

サンアップホームグループ



域の方々との交流を深める機会にもなっています。地域の一員として汗を流すことで、信頼関係づくりに繋がればと考えています。

また、高杉小学校の下校見守り活動にも継続して取り組んでいます。子どもたちが安心して帰宅できるよう、同じ弘前市高杉にあるグループホームアップルの利用者さんと共に通学路に立ち、笑顔で声を掛けています。子どもたちとの交流だけではなく、地域全体で子どもを育てるという暖かな繋がりが生まれることを期待しています。



さらに、本年度は青森県社会福祉協議会の補助金制度も活用し、当グループとして初めての多世代の集う食事会を開催しました。単に食事を提供するだけではなく、子どもたちも含めて、交流できる居場所づくりを目的とした取り組みです。当日は数多くの方に参加していただきました。

今後も福祉施設や制度の枠に留まらず、地域とともに世代を繋ぐ活動を積み重ねながら、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現に貢献していきたいと思っています。

拓光園グループ

弥生地区親睦卓球大会

障害者支援施設拓光園

主任生活支援員 山口 純輝

令和8年7月18日(土)、令和8年度弥生地区親睦卓球大会が開催されました。本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により長らく開催を見合わせていましたが、約7年ぶりの開催が実現しました。

当日は、七峰会の職員をはじめ、弘前第一養護学校や弘前市弥生荘の方々も集まりました。試合

は熱気と歓声

に包まれる会場で卓球を楽しむ、互いに

声を掛け合いながら交流を深めていま

した。

今後も弥生

地区における

学校関係者や福祉施設職員が、施設や部署を越えて交流できる大切な機会としてまいります。

大会参加や運営にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



拓心館グループ

花壇整備と集会所清掃を通じた地域との関わり

拓心館グループ 主任 日野 雅子

6月初めの爽やかな朝に、拓心館グループでは利用者さんと一緒に、熊嶋町会が主催する花壇整備活動に参加しました。

当日は町会の皆様との会話を楽しみながら、色とりどりの花の苗を一つ一つ丁寧に植えていきました。最初のうちは緊張していた利用者や職員も、自然と笑顔が見られるようになり、和やかな雰囲気の中で作業を進めることができました。



した。

また、町会とのつながりの中で、花壇整備だけでなく、集会所の清掃も今年度より請け負っています。就労移行支援事業所の作業訓練の一環として月1回、職員と利用者さん数名で訪問し、地域の皆様が気持ちよく集会所を利用できるように、責任を持って取り組んでいます。

今回の花壇整備や集会所清掃の

ように作業を通じて取り組める活動は、利用者さんにとっても働く喜びや自信に繋がる大変貴重な機会となります。

これからも地域との繋がりを深め、街づくりに貢献してまいります。

山郷館弘前グループ

地域との連携を深める 地域連携推進会議の開催

障害者支援施設山郷館

主任生活支援員 赤平 志保

令和8年7月22日(水)、障害者支援施設山郷館にて地域連携推進会議を開催いたしました。地域に開かれた施設運営の推進とサービスの質向上などを目的として、地域住民の皆さま、利用者さん、利用者さんのご家族に委員としてご参加いただきました。

施設内見学や当

日の利用者さんに提供された昼食と同じメニューを召

し上がったいただき、1週間の献立

をもとに提供している食形態も紹介

しながら、毎日施設で調理した給食を提供していることを説明しまし

た。その後、参加者の皆さんと施設運営や支援の充実に向けた意見交換を行い、緊急時の受診体制、



日々の状態観察方法、虐待防止に関する取り組み等の質問が挙がり、支援内容や内部研修を実施していることを共有することができました。

今後も地域と

の連携を深め、安心して利用いただける施設づくりに努めてまいります。



旭光園グループ

農福連携の取り組み

メロンの収穫が始まりました

障害者支援施設旭光園

職業指導員 藤田 博之

旭光園では野菜を中心とした栽培を行っています。現在は、メロン、ネギ、オクラなどを栽培しており、メロンについては、弘果のご指導のもと「アムさんメロン」「アーバンデリシャス」として栽培しています。

5月中旬に定植したメロンは、いよいよ収穫の時期を迎え、毎日収穫作業に追われる忙しい日々を

過ごしています。

メロン栽培は、作業工程が多いうえ、一株につき一度しか収穫できないため、栽培管理には細心の注意が必要です。その一方で、商品単価が高く、利用者の皆さんの工賃向上にも繋がることを期待しています。

作業は利用者一人ひとりの障害特性に合わせて分担しており、皆さん生き生きと取り組んでいます。特に収穫の日を心待ちにしており、自分たちが育てた野菜やメロンがお店に並ぶ様子を見ることが、大きな喜びとなっています。今後もさまざまな作物の収穫が

続きます。利用者の皆さんと力を合わせて、心を込めて栽培に取り組みますので、店頭で見かけた際は、ぜひご賞味ください。



青葉もみじグループ

農芸活動について

障害者支援施設青葉寮

生活支援員 福士 悠介

日々の活動の一つとして園芸活動に力を入れています。花壇や菜園の手入れを通して、植物の成長を楽しむながら、責任感や継続する力を育むとともに、達成感や季節の移り変わりを感じる心を養っています。

また、利用者同士が協力して作

業を行うことで、コミュニケーションや協調性を育む機会にもなっています。

園芸活動で収穫した野菜は、青葉寮の給食で使用されるほか、地域のイベントでも販売しています。自分たちで育てた野菜を味わうことで収穫の喜びを実感できる

とともに、地域の方々との交流や社会参加の機会となり、地域と



の繋がりを深める貴重な活動となっています。

こうした経験の積み重ねを大切にしながら、利用者一人ひとりの社会参加を支援するとともに、将来の地域生活や地域移行も見据えた支援に繋がっています。

7月からはジャガイモを収穫し、8月29、30日に実施される予定の「ひらかわフェスタ2026」で販売します。是非、多くの方に手に取ってもらえることを心待ちにしております。

山郷館黒石グループ

実習生の受け入れ

障害者支援施設山郷館くろいし

生活支援員 渡邊 優美子

山郷館黒石グループでは、地域の学校から実習生を積極的に受け入れています。

令和8年度も厚生看護専門学校の実習生の皆さんを受け入れ、障害者支援施設における看護職員の役割や利用者さまへの関わり方などを指導しました。

これから、看護師として成長していく学生の方にとって良き学びとなるよう職員一同で指導に努めます。



社会福祉法人 七峰会 令和7年度 決算報告書

こちらは、監事監査並びに会計監査人による会計監査を受けたのち、理事会および評議員会において承認された決算報告書です。七峰会法人本部事務所にて閲覧することができます。

資金収支計算書

事業活動計算書

貸借対照表

[自 令和7年4月1日]
[至 令和8年3月31日]

[自 令和7年4月1日]
[至 令和8年3月31日]

[令和8年3月31日現在]

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	資産の部	負債の部
事業活動収入	3,181,025	サービス活動収益	3,181,022	勘定科目	金額
事業活動支出	2,257,659	サービス活動費用	2,475,306	流動資産	3,007,246
事業活動資金収支差額	923,366	サービス活動増減差額	705,716	固定資産	10,306,306
施設整備等収入	190,040	サービス活動外収益	3	(基本財産)	2,602,713
施設整備等支出	1,790,631	サービス活動外費用	0	(その他の固定資産)	7,703,593
施設整備等資金収支差額	△1,600,591	サービス活動外増減差額	3	負債の部合計	
その他の活動収入	1,942,390	経常増減差額	705,719	純資産の部	
その他の活動支出	1,715,065	特別収益	195,295	基本金	564,540
その他の活動資金収支差額	227,325	特別費用	371,049	国庫補助金等特別積立金	592,881
当期資金収支差額	△449,900	特別増減差額	△175,754	その他の積立金	4,563,913
前期末支払資金残高	3,335,992	当期活動増減差額	529,965	次期繰越活動増減差額	7,421,791
当期末支払資金残高	2,886,092	前期繰越活動増減差額	6,664,436	(うち当期活動増減差額)	529,966
		当期末繰越活動増減差額	7,194,401	純資産の部合計	13,143,125
		基本金取崩額	0	負債の部及び純資産の部合計	13,313,552
		その他の積立金取崩額	1,942,390		
		その他の積立金積立額	1,715,000		
		次期繰越活動増減差額	7,421,791		
				資産の部合計	13,313,552



各施設グループの
ホームページでも情報発信中！

編集後記

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。今号より記事内容を一部リニューアルし、【地域の皆さまとの繋がり】や【季節ごとの各施設グループの取り組み】をご紹介させていただく内容に変更いたしました。

次号以降も、各施設グループの特色や専門性をより知っていただけますよう、季節に応じた様々な情報をお届けして参ります。

本部事務局長 東谷 康生

委託事業

- 青森県指定
津軽障害者就業・生活支援センター
〒024-5224
- 弘前市委託事業
弘前市北部地域福祉支援センター
〒055-2100
- 弘前市委託事業
弘前市委託事業
〒055-2100
- 黒石市委託事業
山郷館サポートセンターくろいし
〒050-018

障がい者支援

主に知的・精神・身体

- 青葉もみじグループ
障害者支援施設青葉寮
〒044-8231
- 拓光園グループ
障害者支援施設拓光園
〒055-2331
- 拓心館グループ
障がい者総合支援センター拓心館
〒055-2452
- 津軽生活支援センター
就労サポートひろさき
〒055-2520
- 自立訓練事業（通所療育心館）
児童発達支援センターはあと
〒055-2600
- エイブル
児童発達支援センターとれみ
〒055-5546
- 生活介護事業所おおくぼ
ヘルパーセンターおおくぼ
〒057-7357

主に身体・精神

- 旭光園グループ
障害者支援施設旭光園
〒057-5155
- 山郷館黒石グループ
障害者支援施設山郷館
〒072-211
- 山郷館弘前グループ
障害者支援施設山郷館くろいし
〒053-3070
- 山郷館総合支援センター黒石
山郷館くろいし共同生活援助
児童発達支援センター花りんご
〒058-6511

高齢者介護

- サンアップホームグループ
特別養老ホームサンアップホーム
〒072-111
- サンアップホームグループ
サンアップホームグループ
〒053-330
- サンアップヘルパーセンター
認知症グループホームアップル
〒072-778
- 認知症グループホームわかば
デイサービスセンターわかば
〒071-165

相談

- サンアップ
居宅介護支援センター
〒072-131
- 七峰会総合福祉
相談支援センターヒリーフ
〒057-40
- 七峰会
相談支援事業所ひらかわ
〒051-55
- 山郷館サポートセンターくろいし
〒050-018